



大きな災害が発生した場合、たくさんの傷病者が同時に発生するため
応急手当のための物品が圧倒的に不足、また入手困難になります・・・。

こうした場合に備えて、ご家庭にある「身近なもの」を使って、
少しでも役に立つ応急手当の知識を身につけておきましょう。

身近なもので応急手当



みなさんの家庭には災害時に役に立つさまざまなものがあります。
ケガをした人を安全なところまで搬送する方法
ご家庭にあるもので行う応急手当の方法を一部ご紹介いたします。

ケガをして自力歩行が困難な人を搬送する方法

1 担架搬送法



毛布の両端を丸めて搬送する方法です。



災害でケガをした自力歩行が困難な人を搬送する方法として、複数人で毛布を使用して搬送する方法や、人数が少ない時は徒手搬送します。

2 徒手搬送法



2名で安全に搬送する方法です。



側部側の方は片手を使えるようにしておくことで障害物を避けたり、人払いのジェスチャーをしたりすることができます。

3 タオルとビニール袋を利用した応急手当



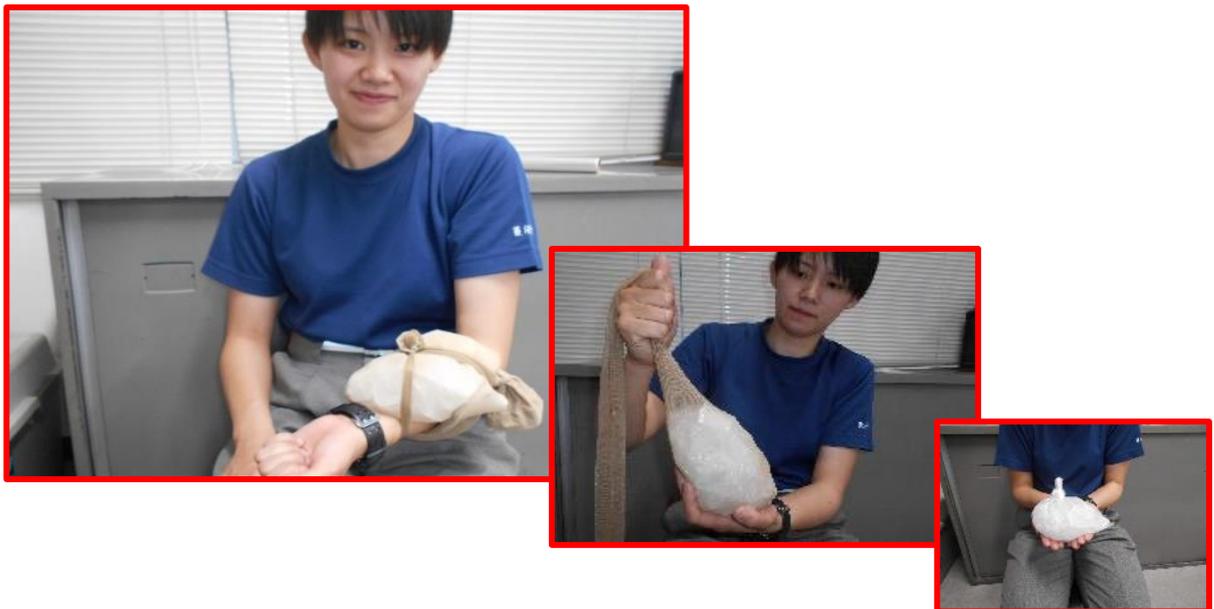
傷口から出血している場合、感染防止の為、血液に直接触れないように**ビニール袋**を活用します。またビニール袋（レジ袋）に切れ目を入れれば腕を吊ることができます。



4 ストッキングを利用した応急手当



清潔なタオルを傷口にあて、**ストッキング**はネットや包帯の代用品として使用でき、また**ビニール袋**に**氷**を入れ**冷却**もできます。



5 新聞紙と食品用ラップで応急手当



骨折の処置で副子や三角巾がない時、**新聞紙**や**食品用ラップ**で代用することもできます。

これらのご紹介した方法はほんの一部で、推奨するものではなく消防署からの提案です。

災害時に必要な知恵はさまざまなものがありますが、一度みなさんのご家庭でも考えてみてはいかがでしょうか？また、消防署では応急手当の知識や技術を学ぶことができる救急講習を実施しています。詳しくは下記のリンクからご確認ください！



⇒ [救急講習案内のページへ](#)